

平成 2 2 年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

2 項 企画費

交通政策課（内線：7100）

3 目 交通対策費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)ようこそようこそ!鳥取「鉄道の旅」PR支援事業	4,788	0	4,788				4,788	
トータルコスト	5,595千円（前年度 0千円）[正職員：0.1人]							
主な業務内容	委託事務							
工程表の政策目標（指標）	智頭急行スーパーはくと等の増便・延伸など幹線鉄道網の充実 関西圏との交流人口の増(スーパーはくと) (智頭急行利用者数：1,200,000人)							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
鳥取への「鉄道の旅」の魅力を京阪神地区等で情報発信することにより、高速道路のPRと併せた相乗効果により鳥取への観光客の拡大を図りつつ、鉄道を利用した観光誘客を推進し、鉄道利用者の拡大、ひいては鉄道の利便性向上を図る。								
2 主な事業内容								
鳥取の観光地の魅力と鉄道アクセスによる近さ、早さ、快適さをPRし、鳥取への「鉄道の旅」を発信するための映像資料を作成し、鉄道事業者、市町村等と連携して鉄道の利用促進を図る。								
(1) 映像資料の概要								
仕様・数量		30秒程度の動画×4本程度						
利用方法		鉄道事業者が行う広報（京阪神地区を運行する鉄道車内モニターによるCM放映等）						
(2) 予算額								
4,788千円（制作委託費）								
3 これまでの取組状況、改善点								
【指標】智頭急行利用者数：1,200,000人 【現状】(H20)1,213,839人								
鉄道事業者による旅行プラン（かにカニ日帰りエクスプレス）やテレビCM等に加え、智頭線利用促進協議会（智頭線沿線3県及び市町村）で京阪神地区からの誘客促進のイベント等に取り組んでいる。								
()平成21年度上半期 智頭急行特急列車乗車人員 対前年比83.4%								

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光政策課（内線：7421）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
（新）県民みんなで観光セールス！ようこそとっとり運動推進事業	(19,034) 10,664	(0) 0	(19,034) 10,664			(8,370)	(10,664) 10,664	
トータルコスト	13,084千円（前年度0千円）〔正職員0.3人〕							
主な業務内容	協議会の開催、発起イベントの開催、ツール作成、研究委託等							
工程表の政策目標（指標）	全県をあげたもてなしの向上							

上段（ ）内の数値は商工労働部の緊急雇用創出事業計上分を含む額

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

観光立県を推進するため、ようこそようこそ鳥取県観光振興条例に基づき、県民をあげて、ようこそようこそ鳥取県運動を推進する。

2 主な事業内容

（1）事業費

10,664千円

（2）事業内容

事業名	金額（千円）	事業内容
ようこそようこそ鳥取県運動推進協議会の開催	164	ようこそようこそ鳥取県運動を推進するため、ようこそようこそ鳥取県運動推進協議会を開催する。
発起イベントの開催	3,000	観光誘客に向けた県民の意識醸成を図るための発起イベントを開催する。
ようこそ運動展開ツールの作成	6,500	ようこそ運動を展開するための展開ツールとして、観光ポスター、のぼり等を作成する。
地域観光活動方策の研究委託	1,000	全国の成功事例の分析等をもとに、本県での観光振興に向けた地域活動の展開策を立案し、研究成果を地域へ還元する。（委託先：鳥取大学）
ようこそとっとり・トータルサポートシステム構築促進モデル事業（緊急雇用創出事業）	(8,370)	来訪者のニーズに関する情報を収集・管理し、地域の関係者と共有を図り、サービス提供の体制をモデル的に構築し、今後の誘客を促進する。（委託事業） ・委託先： 公募により決定（観光関係団体・NPO等） ・委託内容 ア 地元への来訪者のニーズ等に関する情報の提供 イ 来訪者への域内移動手段の提供 等 ・雇用創出人数 2名

参考：ようこそようこそ鳥取県観光振興条例（平成21年7月制定）

（県民運動の推進）

第8条 県民等及び地域行政は、地域における創意工夫を生かした主体的な取組を通じて郷土に誇りと愛着を持ち、観光客に温かな心配りで接すること等により、観光の振興を図り、活力に満ちた地域社会を形成していく取組を県民運動として推進していくよう努めるものとする。

（協議会の設置）

第10条 県民等及び地域行政は、ようこそようこそ鳥取県運動を一体的かつ総合的に推進するため、ようこそようこそ鳥取県運動推進協議会（以下「ようこそ協議会」という。）を組織する。

2 ようこそ協議会は、次に掲げる事項を処理する。

（1）ようこそ運動取組指針の策定及び変更について意見を述べること。

（2）ようこそ運動取組指針に定める事業の推進に関すること。

（3）その他本県の観光の振興のために必要な取組に関すること。

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
3 項 観光費
1 目 観光費

観光政策課（内線：7238）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考																						
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																							
(新) グリーンツーリズム普及促進事業	500	0	500				500																							
トータルコスト	2,920千円(前年度 0千円)[正職員:0.3人]																													
主な業務内容	地元との連絡調整、補助金交付事務																													
工程表の政策目標(指標)	新たな魅力づくりに努め、本県ならではの観光魅力を形成する																													
事業内容の説明																														
<p>1 事業の目的・概要 近年、観光客のニーズが多様化している中で、田舎ぐらしや農業体験、自然体験等のグリーンツーリズムに対する関心が高まっており、県内の受入態勢（体験型メニュー及び受入農家数の増加等）の整備促進を図る。</p> <p>2 主な事業内容 グリーンツーリズム普及促進補助金（500千円） グリーンツーリズムに興味のある農林漁家が、県内先進地域での実地体験・意見交換会を行うことで受入に向けた機運醸成を図るとともにグリーンツーリズムのモデルツアーを実施することにより、県内の親子等にグリーンツーリズムを体験していただき、その素晴らしさを実感していただく。</p> <p>(1) 補助金名 グリーンツーリズム普及促進補助金 (2) 補助率 1 / 2 (3) 補助対象者 グリーンツーリズムに興味のある農林漁家及び地域 グリーンツーリズムの受入団体 (4) 補助対象経費 県内先進地域での実地体験、意見交換会等の実施に要する必要な経費 県内の親子、子ども会等がグリーンツーリズム体験を行うに必要な経費</p> <p>< 庁内若手職員提案事業 > GMGT (Good Morning Green Tourism) の推進 GMGTは若手職員サブチームの造語 旅館・ホテルの宿泊旅行者（特に40～60歳代）をターゲットにした早朝体験型のグリーンツーリズムを提供し、観光客にとって余裕のある時間帯に気軽に収穫体験等を行っていただく取組み（GMGT）を推進する。</p> <p>GMGTの実施（例）</p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><td>6:30</td><td>旅館・ホテル発</td></tr> <tr><td>7:00</td><td>現地着</td></tr> <tr><td></td><td>朝どれトマト収穫体験</td></tr> <tr><td></td><td>かぶりつき</td></tr> <tr><td>8:30</td><td>ホテル着、朝食</td></tr> <tr><td>10:00</td><td>チェックアウト</td></tr> </table> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td>8:00</td><td>旅館・ホテルで朝食</td></tr> <tr><td>9:00</td><td>チェックアウト</td></tr> <tr><td>9:30</td><td>現地着</td></tr> <tr><td></td><td>収穫体験、地引き網等</td></tr> <tr><td>11:30</td><td>現地発</td></tr> </table>									6:30	旅館・ホテル発	7:00	現地着		朝どれトマト収穫体験		かぶりつき	8:30	ホテル着、朝食	10:00	チェックアウト	8:00	旅館・ホテルで朝食	9:00	チェックアウト	9:30	現地着		収穫体験、地引き網等	11:30	現地発
6:30	旅館・ホテル発																													
7:00	現地着																													
	朝どれトマト収穫体験																													
	かぶりつき																													
8:30	ホテル着、朝食																													
10:00	チェックアウト																													
8:00	旅館・ホテルで朝食																													
9:00	チェックアウト																													
9:30	現地着																													
	収穫体験、地引き網等																													
11:30	現地発																													

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
 3 項 観光費
 1 目 観光費

観光政策課（内線：7238）
 （単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 「温泉王国とっとり」緊急対策事業	23,000	0	23,000				23,000	
トータルコスト	27,034千円(前年度 0千円)[正職員:0.5人]							
主な業務内容	情報発信の内容検討、誘客イベントの企画検討及び関係機関との連絡調整等							
工程表の政策目標(指標)	新たな魅力づくりに努め、本県ならではの観光魅力を形成する。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

県内温泉地の入湯客数の減少に歯止めをかけ好転させるため、緊急対策事業を行う。

2 主な事業内容

(1) 宿泊者数増加に向けた情報発信	予算額：10,000		
個人向けの誘客促進を図るため、国内旅行専門雑誌及び宿泊予約サイトに鳥取県の旬な情報を掲載することにより誘客促進を図る。(対象エリア：関西及び中四国) 国内旅行専門雑誌(1回あたり見開き2ページ) <情報発信の時期及びテーマ(案)>			
平成22年4月	鳥取自動車道開通	平成22年9月	ラリーイベント
平成22年6月	ゲゲゲの女房、砂の美術館	平成23年1月	カニと温泉
宿泊予約サイト 予約サイトへのバナー広告や会員向けメールマガジンを活用した広告等の実施 その際、県、宿泊施設、立ち寄り施設の3者が一体となって情報掲載することにより、観光客が「行ってみたいと思うお得感のある旅」を提案していく。			
(2) ラリーイベントの実施(9月開催)	予算額：4,000		
宿泊者数の増に結びつくよう、国内旅行専門雑誌とタイアップし、地域周遊型のラリーイベントを温泉地などにおいて実施することにより、周遊性を高め滞在時間の延長を図る。 ・観光案内所、温泉地にラリーポイント場所を明記した地図を配布し、参加者はその地図をもとに温泉地等に隠されたポイントを見つけ出すゲームを実施する。 ・テーマ：まんがに描かれた温泉地など			
(3) 温泉地の魅力活用支援事業	予算額：8,000		
温泉地の新しい魅力を創出し他の温泉地との差別化を図るとともに観光客の満足度向上に繋げようとする取り組みに対し支援する。 ・温泉地ごとの取り組み【定額(10箇所):上限50万円】 ・複数の温泉地が連携した取り組み【定額(3箇所):上限100万円】			
(4) 鳥取温泉学フォーラム(関西)開催事業	予算額：1,000		
鳥取自動車道の開通による県内観光客数(特に関西地区)の増加と県内温泉地の活性化を図るため、学術面などから、県内の温泉地それぞれの歴史、効能、魅力などを語るフォーラムを開催する。 ・基調講演 「温泉の効能と鳥取の温泉の魅力」(仮題) 講師：温泉事情に通じた著名人 ・パネルディスカッション 「県内温泉地の取組と効能」(仮題) ・開催場所 大阪市内(予定)			

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光政策課(内線:7237)
(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考																		
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																			
(新)速くなる!近くなる!鳥取自動車道開通観光PR強化事業	30,000	0	30,000				30,000																			
トータルコスト	31,614千円(前年度0千円)[正職員:0.2人]																									
主な業務内容	業者委託に係るコンペティション等実施・契約事務、委託業者との連絡調整																									
工程表の政策目標(指標)	マスコミへの露出アップや観光キャンペーンの展開等により、本県の知名度向上を図る。																									
事業内容の説明																										
<p>1 事業の目的・概要 平成22年3月に鳥取自動車道(県内区間)が開通することにより、鳥取県が「速くなる!近くなる!」ことを、鳥取県ならではの魅力ある観光資源とあわせて集中的にアピールし、観光客の誘客を図る。</p> <p>2 主な事業内容 (1)事業費 30,000千円(委託料) (2)事業内容 ・旅行雑誌や新聞、テレビなど、各種媒体の組み合わせにより、鳥取自動車道開通を契機とした観光情報発信を集中的に展開。 ・パブリシティ中心による情報発信とし、広告代理店等へコンペティション等により委託。 ・関西圏・中京圏を重点エリアとし、集中的に情報発信。</p> <p>【パブリシティの展開例】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>展開方法・内容等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">関西圏・中京圏</td> <td>テレビ番組 6本以上(全国ネット 2本以上)</td> </tr> <tr> <td>雑誌への記事掲載 8誌以上(全国誌 4誌以上)</td> </tr> <tr> <td>新聞・フリーペーパー 10回以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 これまでの取組状況、改善点 NHKで放映される連続テレビ小説「ゲゲゲの女房」や「山陰海岸世界ジオパークネットワーク」加盟などのホットな話題と併せて情報発信に努める。</p> <p><参考> 鳥取自動車道(県内区間)開通に併せた取り組み</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>H22.3月中旬</td> <td>マスコミキャラバン出発式(観光政策課) マスコミキャラバン(観光政策課・県外本部)</td> </tr> <tr> <td>3月下旬</td> <td>高速道路・加西SA(下り)での鳥取県PR(関西本部) ようこそ鳥取県キャンペーン(名古屋本部)</td> </tr> <tr> <td>4月~通年</td> <td>高速道路SAを活用した鳥取県PR(関西本部)</td> </tr> <tr> <td>4月中旬</td> <td>NHK大阪会館でのイベント(関西本部) 春のふるさとフェア・中日ビル(名古屋本部)</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>夏祭りフリーマーケット・ゴヤトーム(名古屋本部)</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>名古屋城宵まつり(名古屋本部)</td> </tr> </tbody> </table> <p>併せて「ゲゲゲのふるさと鳥取県」PRも実施。</p>									区分	展開方法・内容等	関西圏・中京圏	テレビ番組 6本以上(全国ネット 2本以上)	雑誌への記事掲載 8誌以上(全国誌 4誌以上)	新聞・フリーペーパー 10回以上	H22.3月中旬	マスコミキャラバン出発式(観光政策課) マスコミキャラバン(観光政策課・県外本部)	3月下旬	高速道路・加西SA(下り)での鳥取県PR(関西本部) ようこそ鳥取県キャンペーン(名古屋本部)	4月~通年	高速道路SAを活用した鳥取県PR(関西本部)	4月中旬	NHK大阪会館でのイベント(関西本部) 春のふるさとフェア・中日ビル(名古屋本部)	7月	夏祭りフリーマーケット・ゴヤトーム(名古屋本部)	8月	名古屋城宵まつり(名古屋本部)
区分	展開方法・内容等																									
関西圏・中京圏	テレビ番組 6本以上(全国ネット 2本以上)																									
	雑誌への記事掲載 8誌以上(全国誌 4誌以上)																									
	新聞・フリーペーパー 10回以上																									
H22.3月中旬	マスコミキャラバン出発式(観光政策課) マスコミキャラバン(観光政策課・県外本部)																									
3月下旬	高速道路・加西SA(下り)での鳥取県PR(関西本部) ようこそ鳥取県キャンペーン(名古屋本部)																									
4月~通年	高速道路SAを活用した鳥取県PR(関西本部)																									
4月中旬	NHK大阪会館でのイベント(関西本部) 春のふるさとフェア・中日ビル(名古屋本部)																									
7月	夏祭りフリーマーケット・ゴヤトーム(名古屋本部)																									
8月	名古屋城宵まつり(名古屋本部)																									

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費 3 項 観光費 1 目 観光費
2 款 総務費 2 項 企画費 3 目 交通対策費

観光政策課（内線：7421）
交通政策課（内線：7099）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) ようこそようこそ、ゲゲゲのふるさと鳥取！PR事業	34,300	0	34,300				34,300	

トータルコスト 16,614千円(前年度0千円)[正職員:0.2人]

主な業務内容 補助金交付事務、実施主体との連絡調整等

工程表の政策目標(指標) マスコミへの露出アップや観光キャンペーンの展開等により、本県の知名度向上を図る。

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

3月末から9月末のNHK朝の連続テレビ小説「ゲゲゲの女房」放映を機に「ゲゲゲのふるさと鳥取」をテーマとした誘客キャンペーンを展開し、本県の観光振興を図る。

併せて、米子空港の愛称化を図り、全国にアピールすることで観光誘客の促進を通じて米子-東京便、米子-名古屋便の利用促進を図る。

2 主な事業内容

(1) ゲゲゲのふるさと鳥取！PR事業(観光政策課所管)

ゲゲゲのふるさと鳥取をPRし、県外からの誘客増を図るため、期間限定のオリジナル鬼太郎グッズを作成し、県内の観光地を訪れた方にプレゼントする。

ア 手 法：首都圏や中京、近畿圏等で開催されるイベントで記念品引換券付きの「ゲゲゲのふるさと鳥取招待状」を配布し、観光施設等(県内10箇所程度)で引換券とオリジナルグッズを交換

(例) 水木しげる記念館、鳥取砂丘、浦富海岸、大山観光案内所、赤瓦等

イ 実施時期：平成22年8～9月

補助金名	ようこそようこそ、ゲゲゲのふるさと鳥取！PR事業補助金
事業実施	(社)鳥取県観光連盟
補助率	10/10
予算額	15,000千円

(2) 米子空港愛称PR事業(交通政策課所管)

米子空港で現在検討が進められている米子鬼太郎空港等の愛称の設定が決定された場合、愛称による案内看板の設置やイベント等によるPRを行う。

区 分	予算額	内 容
ア 米子空港ターミナルビルの愛称看板の設置 (事業実施：米子空港ビル株)	7,000千円	・愛称看板を空港ターミナルビルの玄関側、滑走路側の2か所に設置
イ 道路標識修正 (事業実施：県土整備部)	5,300千円	・県が所管する国・県道等の米子空港案内道路標識の修正
ウ 愛称化記念イベント及びPR (事業実施：交通政策課)	7,000千円	・米子空港で愛称化及び看板設置を記念したイベント実施 ・羽田空港及び中部国際空港で愛称化PRのためのイベント実施 ・愛称化を記念したノベルティグッズプレゼント(「うっとり鳥取キャンペーン」と連動) ・PR用のポスター、チラシの作成
合 計	19,300千円	

3 これまでの取組状況、改善点

NHKで放映される連続テレビ小説「ゲゲゲの女房」等のホットな話題と併せて情報発信に努める。

<参考>

マスコミへの情報発信については、以下の事業でも実施

- ・「速くなる！近くなる！鳥取自動車道開通観光PR強化事業」
- ・「温泉王国とっとり」緊急対策事業

平成 22 年度一般会計当初予算説明資料

10 款 教育費

6 項 社会教育費

博物館 (0857-26-8042)

4 目 博物館費

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)『山陰海岸ジオパーク』の魅力学ぶ講座開催費	1,714	0	1,714				1,714	
トータルコスト	8,975千円(前年度：0千円)[正職員：0.9人]							
主な業務内容	教育普及活動業務、情報発信業務、関係機関との調整・協議業務							
工程表の政策目標(指標)	入館者の増(平成22年度：入館者数6.1万人) 普及活動への入館者の増(平成22年度：0.3万人)							
事業内容の説明								
1 事業の概要								
<p>世界ジオパーク加盟をめざす『山陰海岸ジオパーク』の取組の支援及びその拠点施設として、地元自治体や民間団体と連携して『山陰海岸ジオパーク』の魅力をもくの方に伝える講座の開催や講演会等への講師の派遣等を行う。</p>								
2 事業の内容 (単位：千円)								
区分	予算額	事業内容						
(1)主催講座の開催(年15回)	1,214	<p>バスツアーでジオスポットを学ぶ講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県エリアも取り入れ、山陰海岸ジオパークの代表的なジオスポットをバスで移動しながら、観察し学ぶ講座。 ジオスポット観察会 ・鳥取県エリアの各ジオスポットの貴重な自然(地形の成り立ちや岩石の特徴など)について観察し学ぶ講座。 						
(2)学芸員の派遣	500	<p>学芸員派遣(派遣旅費)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元自治体や民間団体等が主催する学習会やボランティア養成講座などへ、山陰海岸学習館及び博物館の学芸員を講師として派遣する。 						
3 これまでの取り組み状況、改善点								
<p>山陰海岸学習館では平成21年度に「山陰海岸ジオパークの地形・地質を学ぶ講座」を新たに追加し、地域の方々に山陰海岸の新たな魅力を紹介した。天候不良の場合を除き、毎回定員に近い状態であり好評である。</p> <p>平成22年度は、「山陰海岸ジオパーク」の魅力をもくの方に伝えるため、関係市町村や民間団体とも連携し、「山陰海岸ジオパーク」の拠点施設として整備した山陰海岸学習館を中心としたジオパークに関する主催講座の開催</p> <p>学校をはじめ地元自治体や民間団体等が主催する学習会やボランティア養成講座等への学芸員の派遣</p> <p>などの活動を展開する。</p>								

平成 2 2 年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

1 項 総務管理費

関西本部(電話:06-6341-3955)

9 目 県外事務所費

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考																								
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																									
「うっとり・がっつり・とっとり」魅力発信事業	25,826	20,000	5,826				25,826																									
トータルコスト	48,416千円 (前年度 41,541千円) [正職員:2.8人]																															
主な業務内容	マスコミ等を活用した情報発信、イベント実施、情報交換会の実施など																															
工程表の政策目標(指標)	<ul style="list-style-type: none"> ・「鳥取自動車道開通」を契機とした観光入込者数の増に努める ・観光・物産等を複合的にPRし本県の魅力発信に努める (発地別観光入込客数(近畿圏発):平成24年度までに2400千人へ) 																															
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>平成21年度末に鳥取自動車道が県内開通することもあり、関西圏のマスコミ媒体を活用した情報発信やイベントを実施し、誘客や移住定住の更なる促進を図る。</p> <p>2 主な事業内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>所要額</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(新) 集中的な情報発信</td> <td>4,000千円</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・秋冬期の宿泊客増加を目的に、複数の媒体で集中的に情報発信 <table border="1"> <tr> <td>媒体</td> <td>在阪テレビ局の情報番組、新聞等</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>9～10月頃の一定期間</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>(一部新規) 高速道路サービスエリアを活用した情報発信</td> <td>14,426千円</td> <td> <p>【高速道路サービスエリア(SA)】</p> <table border="1"> <tr> <td>実施箇所</td> <td>西日本の高速道路SA</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・フリーペーパーへの広告掲載(100万部×6回) ・映像コーナーで観光情報等を放映 ・リーフレット配架 ・ポスター掲示 </td> </tr> </table> <p>【(新)スタンプラリー】</p> <table border="1"> <tr> <td>実施箇所</td> <td>関西の主要SA～鳥取県内の主要観光地間</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>8月(夏休み期間中)を予定</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>県内団体との連携した情報発信</td> <td>800千円</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・県内団体(観光協会、交通機関等)と連携し、関西圏で観光展を開催 </td> </tr> </tbody> </table> <p>3 これまでの取組状況・改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近畿ブロック知事会への加入以降、関西の各団体が主催するイベントで、「本県への距離・時間的な近さ」を切り口とした情報発信を実施。 しかし、関西圏における本県の知名度は決して高いとはいえないのが現状 (例)温泉、カニ=北陸というイメージ ・平成21年度は、フリーペーパー「パスティ」への広告掲載やリーフレットの配架など、高速道路を活用した新たな情報発信手法にも取り組んだ。 今後もサービスエリアでのイベントやスタンプラリーの実施を通じて、マイカー利用者に対する「近くなった鳥取県」の積極的なPRを進める。 									区 分	所要額	事業内容	(新) 集中的な情報発信	4,000千円	<ul style="list-style-type: none"> ・秋冬期の宿泊客増加を目的に、複数の媒体で集中的に情報発信 <table border="1"> <tr> <td>媒体</td> <td>在阪テレビ局の情報番組、新聞等</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>9～10月頃の一定期間</td> </tr> </table>	媒体	在阪テレビ局の情報番組、新聞等	時期	9～10月頃の一定期間	(一部新規) 高速道路サービスエリアを活用した情報発信	14,426千円	<p>【高速道路サービスエリア(SA)】</p> <table border="1"> <tr> <td>実施箇所</td> <td>西日本の高速道路SA</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・フリーペーパーへの広告掲載(100万部×6回) ・映像コーナーで観光情報等を放映 ・リーフレット配架 ・ポスター掲示 </td> </tr> </table> <p>【(新)スタンプラリー】</p> <table border="1"> <tr> <td>実施箇所</td> <td>関西の主要SA～鳥取県内の主要観光地間</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>8月(夏休み期間中)を予定</td> </tr> </table>	実施箇所	西日本の高速道路SA	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・フリーペーパーへの広告掲載(100万部×6回) ・映像コーナーで観光情報等を放映 ・リーフレット配架 ・ポスター掲示 	実施箇所	関西の主要SA～鳥取県内の主要観光地間	時期	8月(夏休み期間中)を予定	県内団体との連携した情報発信	800千円	<ul style="list-style-type: none"> ・県内団体(観光協会、交通機関等)と連携し、関西圏で観光展を開催
区 分	所要額	事業内容																														
(新) 集中的な情報発信	4,000千円	<ul style="list-style-type: none"> ・秋冬期の宿泊客増加を目的に、複数の媒体で集中的に情報発信 <table border="1"> <tr> <td>媒体</td> <td>在阪テレビ局の情報番組、新聞等</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>9～10月頃の一定期間</td> </tr> </table>	媒体	在阪テレビ局の情報番組、新聞等	時期	9～10月頃の一定期間																										
媒体	在阪テレビ局の情報番組、新聞等																															
時期	9～10月頃の一定期間																															
(一部新規) 高速道路サービスエリアを活用した情報発信	14,426千円	<p>【高速道路サービスエリア(SA)】</p> <table border="1"> <tr> <td>実施箇所</td> <td>西日本の高速道路SA</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・フリーペーパーへの広告掲載(100万部×6回) ・映像コーナーで観光情報等を放映 ・リーフレット配架 ・ポスター掲示 </td> </tr> </table> <p>【(新)スタンプラリー】</p> <table border="1"> <tr> <td>実施箇所</td> <td>関西の主要SA～鳥取県内の主要観光地間</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>8月(夏休み期間中)を予定</td> </tr> </table>	実施箇所	西日本の高速道路SA	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・フリーペーパーへの広告掲載(100万部×6回) ・映像コーナーで観光情報等を放映 ・リーフレット配架 ・ポスター掲示 	実施箇所	関西の主要SA～鳥取県内の主要観光地間	時期	8月(夏休み期間中)を予定																						
実施箇所	西日本の高速道路SA																															
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・フリーペーパーへの広告掲載(100万部×6回) ・映像コーナーで観光情報等を放映 ・リーフレット配架 ・ポスター掲示 																															
実施箇所	関西の主要SA～鳥取県内の主要観光地間																															
時期	8月(夏休み期間中)を予定																															
県内団体との連携した情報発信	800千円	<ul style="list-style-type: none"> ・県内団体(観光協会、交通機関等)と連携し、関西圏で観光展を開催 																														

平成 2 2 年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
3 項 観光費
1 目 観光費

観光政策課（内線：7421）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
観光二次交通整備 対策事業	2,934	1,722	1,212				2,934	
トータルコスト	4,548千円（前年度 4,208千円）〔正職員0.2人〕							
主な業務内容	補助金交付事務、バスマップの作成、関係機関との連絡調整							
工程表の政策目標（指標）	全県あげてのもてなしの向上に努めるとともに、観光二次交通の充実を図る。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 旅行形態が変化し、個人旅行が主流になってきている中、幹線交通拠点から観光地までの二次交通の整備が必要となってきたことから、県内の観光二次交通の整備を図り、観光立県を推進する。								
2 主な事業内容								
(1) 事業費 2,934千円								
(2) 事業内容								
事業名	金額（千円）	事業内容						
バス旅マップ作成事業	333	観光二次交通として、路線バスの活用を促進するため、路線バスの時刻、路線図を掲載した冊子を作成・配布する。 ・作成部数10,000部						
浦富海岸・鳥取砂丘観光周遊バス運行支援事業	1,100	世界ジオパークネットワーク加盟をめざす鳥取砂丘・浦富海岸を周遊する観光ボンネットバスの運行を支援する。 ・運行期間 5月1日～10月31日の土日祝（予定） ・補助対象者 浦富海岸・鳥取砂丘エリア観光二次交通運行協議会 ・補助率 1/3						
（新）鳥取空港 - 鳥取砂丘間乗合ジャンボタクシー運行支援事業	1,120	鳥取空港と鳥取砂丘を直結する乗合ジャンボタクシーの運行について、鳥取市と連携し、必要な経費を支援する。 ・運行期間 4月～3月までの土日祝（夏休み等の期間は毎日運行） ・運行時間 鳥取空港発 第1便、第2便に対応 鳥取砂丘発 第3便、第4便に対応 ・支援内容 （運行支援） 1 運行当たり必要な最低売上げ額3千円から売上げ額を差引いた額を支援（鳥取県1/2、鳥取市1/2） （広報支援） 広報費の支援（鳥取県1/2、鳥取市1/2） ・補助対象 鳥取ハイヤー共同組合						
事務費	381							

平成 2 2 年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

観光政策課（内線：7637）

1 目 観光費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
「まんが王国とっとり」PR事業	8,342	7,022	1,320				8,342	
トータルコスト	14,796千円（前年度 13,650千円）[正職員：0.8人]							
主な業務内容	事業設計、関係団体との連絡調整、情報発信の推進							
工程表の政策目標(指標)	まんが・映画等を活用した新たな魅力づくり							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

本県は世界的に有名な漫画家を輩出しており、本県の認知度向上やイメージアップに大きく寄与している状況を踏まえ、「まんが王国とっとり」を国内外へ情報発信する。

2 主な事業内容

(1) 国内向けの情報発信(1,503千円)

漫画やアニメなどのコンテンツ産業の集積地である首都圏において、以下のような事業を実施することにより、漫画をテーマに本県の認知度向上及びイメージアップを図る。

- ・連続テレビ小説「ゲゲゲの女房」と連携した情報発信の実施
- ・妖怪そっくりさんコンテスト入賞者とのマスコミキャラバン

(2) 国外向けの情報発信(5,418千円)

台湾の「台北漫画博覧会」及び韓国の「富川(プチョン)国際漫画祝祭」において、漫画をテーマに本県の情報発信を行うとともに、期間中、旅行会社やマスコミ等を訪問し、本県の認知度向上と誘客促進を図る。

台湾「台北漫画博覧会」

概 略：漫画アニメをテーマとした大規模博覧会

時 期：8月中旬

韓国「富川(プチョン)国際漫画祝祭」

概 略：韓国国内最大級の漫画アニメをテーマとした大規模博覧会

時 期：9月中旬

(参考)「まんが王国とっとり」の推進に向けた事業体系

まんが王国とっとりPR事業(8,342千円)
目的：国内外へまんがを切り口とした情報発信を行い、本県の認知度向上、観光客誘致を図る

<別事業>

「2012国際マンガサミット in 鳥取」誘致推進事業(2,395千円)
目的：東アジア他での認知度向上、観光客誘致をさらに進めるため誘致するもの
緊急雇用基金の活用(14,352千円)
目的：サミット誘致に向けた取組みを推進するため、新たに2名の職員を雇用(委託)し、体制強化を図る。

3 これまでの取組状況、改善点

- ・国内外での情報発信により、本県の認知度向上につながっている。
- ・「富川国際漫画祝祭」への出展を契機として、国際マンガサミット事務局との連携を図ることができた。
- ・サミット誘致に向けた取組みを推進するため、緊急雇用基金を活用し、新たに2名の職員を雇用(委託)して、体制強化を図る。

平成 2 2 年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
3 項 観光費
1 目 観光費

観光政策課（内線：7 2 3 8）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
温泉地魅力向上事業	11,538	10,538	1,000				11,538	
トータルコスト	18,799千円（前年度17,995千円）[正職員：0.9人]							
主な業務内容	負担金交付事務及び協議会への出席、助言等							
工程表の政策目標(指標)	新たな魅力づくりに努め、本県ならではの観光魅力を形成する。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

本県にとって重要な観光資源である温泉地の魅力向上のため、近隣エリア内の温泉地、観光施設及び市町等が連携して行う広報宣伝、イベント等に対して助成する。

2 主な事業内容

区 分	予算	内 容
(1)いなば温泉郷支援事業 [総事業費 3,930]	1,310	いなば温泉郷協議会が行う情報発信、受地対策、接遇向上等の事業を支援する。
(2)とっとり梨の花温泉郷支援事業 [総事業費 12,000]	4,000	とっとり梨の花温泉郷広域観光協議会が行う雑誌広告、マスコミ招致等の事業を支援する。
(3)皆生温泉支援事業 [総事業費 15,000]	5,000	皆生温泉にぎわい創出事業実行委員会が行う滞在型健康保養プログラム事業等を支援する。
(4)(臨)皆生温泉開湯110周年記念事業 [総事業費 3,000]	1,000	皆生温泉にぎわい創出事業実行委員会が行う皆生温泉開湯110周年記念事業を支援する。
(5)事務費	228	

（*負担割合 県1/3、市町1/3、旅館組合等の地元1/3）

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
 3 項 観光費
 1 目 観光費

観光政策課(内線:7237)
 (単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
山陰文化観光圏整備事業	(18,086) 13,472	(3,000) 3,000	(15,086) 10,472			(4,614)	(13,472) 13,472	
トータルコスト	16,699千円(前年度7,143千円)〔正職員:0.4人〕							
主な業務内容	協議会総会等の開催、共通事業の実施、構成団体との連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	他府県と連携してエリアとしての観光魅力を向上させ、国内外からの観光客誘致を促進する。							

上段()内の数値は商工労働部のふるさと雇用再生特別交付金事業計上分を含む額

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

鳥取県中部から島根県大田市(隠岐を含む)に至る観光地が連携して、2泊3日以上滞留型観光を推進するために、両県の観光関係団体、交通事業者、行政機関等で組織する山陰文化観光圏協議会に対して、事業費の一部を負担する。

併せて、魅力的な事業の実施、効果的な情報発信を実施するためには、各観光地間や異業種間の連携が必要になる。これらの関係者の連携を調整するため事務局の機能強化を図る。

《観光圏の範囲》

鳥取県:中部5市町、西部9市町村
 島根県:東部8市町、大田市、隠岐3町1村

2 主な事業内容

(1) 事業費

13,472千円(負担金7,500千円、委託料5,972千円)

(2) 主な事業

ア 鳥取県と島根県及び市町村等と共同で実施する圏域全体に関する事業

鳥取県負担額 3,500千円(負担先:島根県観光連盟)

事業内容	事業費	財源		
		国	両県	その他
周遊マップ作成	2,000	800	1,200	0
ポータルサイト運営	700	0	700	0
二次交通(バス)マップ改訂	2,000	800	600	600
周遊バス実証運行	4,100	1,640	1,260	1,200
圏域内事業者研修会	800	320	480	0
モニタリング調査	3,800	1,520	2,280	0
PR用ツール作成	1,600	640	480	480
合計	15,000	5,720	7,000	2,280

イ 市町村観光協会や各温泉旅館組合等、個別の協議会構成員が実施する事業への助成

鳥取県負担額 4,000千円(負担先:島根県観光連盟)

事業内容	事業費	財源
・着地型旅行商品作り ・さかな食べ歩きマップ作成 ・観光素材集作成 など	20,000 (予定)	両県 4/10 事業主体 6/10

助成対象:国庫補助対象期間(平成22年9月まで)を越えるため、補助対象とならない事業で市町村域を越えるもの。

ウ 鳥取県事務局費 鳥取県観光連盟への委託料 5,972千円

事業内容	事業費	財源
・コーディネーター人件費 ・アドバイザー(非常勤)の配置 ・上記の活動旅費	5,972	鳥取県 10/10

別途、ふるさと雇用再生特別交付金を活用し、山陰文化観光圏事務局の体制強化を図るため、観光地間や異業種間連携を調整するコーディネーターの事務補助員を鳥取県観光連盟に1名配置する。

3 これまでの取組状況、改善点

平成20年 8月 観光圏協議会設立
 10月 国土交通大臣の観光圏第1号認定・滞在型観光を促進するための事業を開始
 平成21年 4月 鳥取県事務局設置(コーディネーター配置)
 周遊マップ、2次交通(バス)マップの作成やモニタリング調査等を実施しているところ。

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
2目 計画調査費

観光政策課(内線:7637)
(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
山陰海岸世界ジオパークネットワーク加盟推進事業	(26,735) 19,185	(12,957) 12,957	(13,778) 6,228	(1,580) 1,580		(7,550)	(17,605) 17,605	
トータルコスト	25,639千円(前年度17,100千円)[正職員:0.8人、非常勤職員0.2人]							
主な業務内容	山陰海岸ジオパーク推進協議会への参画、負担金等交付事務、普及・啓発事業の実施							
工程表の政策目標(指標)	他府県と連携してエリアとしての観光魅力を向上させ、国内外からの観光客誘致を促進する。							

上段()内の数値は商工労働部の緊急雇用創出事業計上分を含む額

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

山陰海岸ジオパークの、世界ジオパークネットワーク加盟を目指すとともに、ジオパークの取り組みを推進し、京都府、兵庫県、鳥取県の3府県で、広域的に連携した観光振興を目指す。併せて、ジオパークの教育活用、受入れ態勢の整備を図る。

2 主な事業内容

- (1) 「山陰海岸ジオパーク推進協議会」への負担金 4,582千円
協議会で実施する主な事業(予算額30,000千円)
・ボランティアガイド養成講座の実施
・ジオパークを活かした調査研究、環境学習の実施
・協議会事務局に専門家を配置 など

- (2) 県単独事業 14,603千円

(単位:千円)

事業内容	金額
ア 住民等の意識向上に関する事業	
(ア)鳥取市、岩美町の住民及び観光事業者・交通事業者等に対する学習会の開催(各市町座談4回、現地学習会2回ずつ開催。)	480
(イ)世界ジオパークネットワーク加盟認定時記念事業(記念フォーラムの開催、新聞特集記事の掲載など)	2,484
(ウ)写真展の開催、新聞特集記事の掲載、パンフレット印刷代等	3,300
イ 外国人対策に関する事業	
(ア)外国人観光客に対応するため、鳥取砂丘事務所、山陰海岸学習館に計2名の外国人対応ガイド(英語)を採用し配置。 *緊急雇用基金(別事業)を11カ月分充当し1年間雇用。	688 (8,238)
(イ)外国人向けパンフレット等翻訳経費補助(観光協会等に対し1/2補助)	250
(ウ)通訳ボランティアを対象とした学習会の開催	360
ウ ジオツアー(旅行商品、地質観察会、ジオウオーク等)に関する事業	
(ア)県外旅行会社の商品造成担当者に対する説明会を開催(現地視察含む)	3,020
(イ)小・中学校での地質観察会等に対する支援(バス代等)	700
(ウ)県境を越えたジオウオークに対する補助(定額補助:50万円上限)	500
エ 受入れ態勢の整備に関する事業	
(ア)鳥取市、岩美町等のジオパークに関する看板製作等に対する補助(補助率1/2)	500
(イ)自然遊歩道等を記載した散策マップの作成	1,050
オ 県外への情報発信に関する事業	
カルチャーセンター(東京、大阪)で、講座を実施(現地講座含む)	1,271

表中()書き数値は年間必要額

別途:緊急雇用創出事業活用事業

外国人旅行者に対応できるガイドを2名配置(配置場所:鳥取砂丘事務所・山陰海岸学習館)

3 これまでの取組状況、改善点

山陰海岸ジオパークについては、平成21年12月1日に世界ジオパークネットワークに対し申請書を提出し、今年5月~10月の間に当ネットワーク委員の現地調査が行われる予定である。

平成 2 2 年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
3 項 観光費
1 目 観光費

観光政策課（内線：7421）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳			備考
				国庫支出金	起債	その他	
(社)鳥取県観光連盟運営費	(92,306) 61,053	(80,587) 66,977	(11,719) 5,924			(31,253) (61,053) 61,053	
トータルコスト	62,667千円(前年度70,291千円)[正職員0.2人]						
主な業務内容	負担金の交付、連絡調整						
工程表の政策目標(指標)	戦略的な観光情報発信事業、受入態勢の充実事業						

上段()内の数値は商工労働部のふるさと雇用再生特別交付金事業計上分を含む額

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

社団法人鳥取県観光連盟の役割、運営費負担のあり方について見直しを行い、その機能の充実を図ることにより、本県の一層の観光振興を図る。

県は、観光連盟に対し、人件費の全額と事業費等の1/2(総額)を負担するほか、ふるさと雇用再生特別基金を活用して着地型旅行商品造成の充実や個人旅行者向けの相談体制等を整備するなど観光誘客に関する取組を強化する。

2 主な事業内容

- ・観光連盟運営費に対する負担金 61,053千円
(別途：ふるさと雇用再生特別基金の活用 31,253千円)

3 これまでの取組状況・改善点

(1) 見直しの背景

- ・全県をあげた観光振興を推進するための県と県観光連盟の役割分担の検討
- ・観光を取り巻く環境の変化への対応
- ・民間会費の減少等による運営費の確保が困難になってきている状況への対応

(2) 見直しの内容

ア観光連盟の取組の強化

観光連盟の事業の見直しを図り、事業の選択と集中・強化を図る。

イ財源の確保について

観光連盟の人材は鳥取県全体の観光振興を図る基盤であり、人件費について県10/10負担とし、プロモーターの活動費は事務局活動費と負担ルールを統一

	県の負担割合	
	現行	見直し後
事務局人件費	1 / 2	10 / 10
事務局活動費・事業費	1 / 2	1 / 2
観光プロモーター人件費	10 / 10	10 / 10
観光プロモーター活動費	10 / 10	1 / 2

ウ県事業の移管について

次の役割に応じ、観光連盟の体制の状況を見ながら、業務を順次移管

観光連盟の実施業務	県の実施業務
<ul style="list-style-type: none"> ・機動的な対応が必要な業務 ・民間事業者との連携が必要な業務 ・旅行会社に対するプロモーション活動 ・観光客等と直接的対応を行う業務 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光に関するインフラの整備 ・他の行政機関との連携が必要な業務 ・県の信用力が有効な業務 ・観光振興に資する取組に対する支援

〔県から県観光連盟への移管業務(予定)〕

- 平成 2 2 年度 もてなし醸成に向けた地域と連携した研修会等の開催
- 平成 2 3 年度 旅行者向け観光資料整備業務
- 平成 2 4 年度 国際観光業務

平成 2 2 年度の「ふるさと雇用再生特別基金」の活用内容。(観光連盟への委託事業)

- ・東京アンテナショップでの観光PRや教育旅行用観光資料の作成等(継続・3名雇用)
- ・個人旅行者向けの旅行商品の造成・相談体制の整備(新規・2名雇用)
- ・観光事業者や観光プロモーターと連携した誘客体制の充実(新規・1名雇用)

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

1 項 総務管理費

東京本部 (03-5212-9077)

9 目 県外事務所費

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
首都圏情報発信事業	3,690	3,690	0				3,690	

トータルコスト 15,792千円 (前年度 16,118千円) [正職員:1.5人]

主な業務内容 マスコミ等への観光等情報提供

工程表の政策目標 (指標) 首都圏における観光等情報の収集・発信
鳥取への誘客の促進

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

本県のような魅力をマスコミに露出し、また、旅行商品に組み込まれることにより、本県への誘客の促進を図る。

2 主な事業内容

本県の観光、特産品、文化、歴史などの魅力を効果的かつタイムリーに発信するため、首都圏のマスコミ及びエージェントに対して、観光プロモーターとともに各種情報提供、PRキャラバンなどを実施する。また、鳥取県東京アンテナショップ「食のみやこ鳥取プラザ」のPRをマスコミ及びイベントを通じて実施する。

(単位:千円)

区 分	予 算 額	事 業 内 容
マスコミ(テレビ局、雑誌、新聞等)への情報提供	2,847	<ul style="list-style-type: none"> マスコミの県内招致旅番組、旅行雑誌等への番組制作、記事掲載のための県内招致の働きかけ マスコミPRキャラバン スイカ(6月)、梨(9月)、松葉ガニ(12月)の旬の時期に新聞等への掲載の働きかけ 新聞、雑誌等での読者プレゼント らっきょう、すいか、梨、松葉がに等のプレゼント企画を新聞等で実施 アンテナショップを絡めたPR アンテナショップ関連の記事掲載の働きかけ
旅行エージェントへの情報提供	225	<ul style="list-style-type: none"> 観光説明会の開催 商品造成担当者及び販売担当者への観光素材の説明 旅行エージェントの県内招致 旅行商品造成のための県内招致の働きかけ
イベントへの参加及び各種活動支援	618	<ul style="list-style-type: none"> イベントへの参加による本県の魅力及びアンテナショップのPR 県内関係者のイベントの実施・参加等に伴う活動支援
合 計	3,690	

3 これまでの取組状況、改善点

- (1)アンテナショップの活用による情報受発信
 - (2)首都圏のマスコミ・エージェントに対する観光・物産等の情報発信
 - (3)マスコミへの訪問による関係強化、プレゼント提供、現地取材等による鳥取の露出促進
 - (4)観光プロモーターと連携したエージェントの現地視察、旅行商品化の促進を図った。
- 今後も引き続き、庁内各課で組織される情報発信担当者会議において、内容を調整しながら実施していく。

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

1 項 総務管理費

東京本部 (03-5212-9077)

9 目 県外事務所費

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取地域学講座開催事業	2,161	2,163	2				2,161	
トータルコスト	6,195千円 (前年度 6,306千円) [正職員：0.5人]							
主な業務内容	講座・シンポジウムの開設、現地視察旅行造成、大学との連絡調整、負担金支払							
工程表の政策目標 (指標)	首都圏における観光等情報の収集・発信 鳥取への誘客の促進							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

首都圏の大学において鳥取県または鳥取県周辺をテーマとした地域学講座等を開催することにより、首都圏在住者や学生に対して本県の魅力を発信し、認知度を高める。

また、地域学講座等に連動した趣味性の高い現地視察旅行を造成することにより、本県への誘客を促進する。

2 主な事業内容

(1) 明治大学での鳥取学講座 (1,000千円)

想定テーマ	2テーマ (1) 女性初の弁護士 中田正子 (2) 食のみやこ鳥取県
講座内容	講義6回(1テーマにつき3回) 現地視察旅行(鳥取)
講師	明治大学教授、鳥取県関係者ほか
定員	200名(1テーマ100名×2)
開催時期	10月～11月

(2) 東海大学での地域学講座 (770千円)

(ア) 鳥根県との連携講座開催

想定テーマ	出雲神話
講座内容	講義2回、現地視察旅行(鳥取・鳥根)
講師	鳥取県、鳥根県から各1名
定員	100名程度
開催時期	10月～11月

(イ) 岡山県との連携講座開催

想定テーマ	鳥取・岡山の鉄道遺産を訪ねる
講座内容	講義2回、現地視察旅行(鳥取・岡山)
講師	鳥取県、岡山県から各1名
定員	100名程度
開催時期	10月～11月

(3) 相模女子大学との連携によるシンポジウム開催 (391千円)

相模女子大学人間社会学部社会マネジメント学科の学生による「地域ブランド」研究の素材に鳥取県(農林水産業、観光物産、まちづくり等の情報)を提供し、研究発表やシンポジウム等への開催協力を通じて、学生や地域住民への情報発信と誘客(研究旅行)促進を行う。

想定テーマ	食・農を通じた地域交流
開催時期	9月～10月

3 これまでの取組状況、改善点

知的好奇心の高い層へ本県の文化的・歴史的な魅力を発信することで、本県に対する認知度や関心の向上が図られ、受講者に対する現地視察旅行商品を造成した結果、具体的な誘客に結びつき始めた。

今後も引き続き、話題性の高い素材探しと情報発信を行っていく。

平成 2 2 年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

1 項 総務管理費

関西本部（電話：06-6341-3955）

9 目 県外事務所費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考								
				国庫支出金	起債	その他	一般財源									
ゲゲゲのふるさと 鳥取県魅力発信 事業	5,677	6,177	500				5,677									
トータルコスト	9,711千円（前年度 11,148千円） [正職員：0.5人]															
主な業務内容	企画調整業務、イベント作業、契約事務など															
工程表の政策目標 (指標)	・「鳥取自動車道開通」を契機とした観光入込者数の増に努める ・観光、物産等を複合的にPRし、本県の魅力発信に努める （発地別観光入込客数（近畿圏発）：平成24年度までに2,400千人へ）															
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>関西における大きな情報発信拠点の1つであるNHK大阪放送会館で魅力発信イベントを開催することで、本県に対する認知度や好感度の向上を図り、更なる誘客促進や移住定住者の増加につなげる。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>平成22年度上半期に、本県にゆかりのある小説「ゲゲゲの女房」を原作とするテレビドラマが放送されることから、とっとり妖怪観光大使の「ゲゲゲの鬼太郎」を切り口としたイベント内容とする。</p> <p>（イベント概要）</p> <table border="1"> <tr> <td>開催日時</td> <td>平成22年4月16日（金）～4月18日（日）3日間</td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td>NHK大阪放送会館アトリウム（大阪市中央区大手前）</td> </tr> <tr> <td>コンセプト</td> <td>「ゲゲゲの女房」「ゲゲゲの鬼太郎」を前面に出した本県全体のPR</td> </tr> <tr> <td>主な内容 （予定）</td> <td> ・本県の観光コースや特産品を「ゲゲゲの鬼太郎」キャラクターが紹介（パネル、実物展示、クイズラリーによる展開など） ・ステージイベント（子ども向けゲーム、観光PR） ・伝統芸能披露（しゃんしゃん傘踊り、麒麟獅子舞、境港大漁太鼓など） ・ワークショップ（ミニ砂像制作、和紙折り紙体験、鬼太郎工作グッズなど） ・観光ツアーデスクの設置 ・NHK連続テレビ小説「ゲゲゲの女房」PRコーナー（NHK大阪放送局主催） </td> </tr> </table> <p>3 これまでの取組状況・改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成15年度以降、関西の情報発信拠点の1つであるNHK大阪放送会館で、鳥取県魅力発信イベントを開催している。 ・期間中の来場者はもとより、NHK大阪放送局が制作する生放送番組でも取り上げられるなど、本県の魅力を発信する絶好の機会となっている。 ・しかし、平成20年度から21年度にかけて来場者の減少傾向が見られるため、より魅力的なイベント内容の検討が必要。 <p>「ゲゲゲの鬼太郎」「ゲゲゲの女房」を集客のエンジンとして開催時期を放送開始直後の4月に変更するとともに、NHK大阪放送局主催のコーナーを展開。</p> <p>また、鳥取自動車道開通や山陰海岸ジオパークなど旬の魅力のPRや体験メニューの増加にも取り組む。</p>									開催日時	平成22年4月16日（金）～4月18日（日）3日間	開催場所	NHK大阪放送会館アトリウム（大阪市中央区大手前）	コンセプト	「ゲゲゲの女房」「ゲゲゲの鬼太郎」を前面に出した本県全体のPR	主な内容 （予定）	・本県の観光コースや特産品を「ゲゲゲの鬼太郎」キャラクターが紹介（パネル、実物展示、クイズラリーによる展開など） ・ステージイベント（子ども向けゲーム、観光PR） ・伝統芸能披露（しゃんしゃん傘踊り、麒麟獅子舞、境港大漁太鼓など） ・ワークショップ（ミニ砂像制作、和紙折り紙体験、鬼太郎工作グッズなど） ・観光ツアーデスクの設置 ・NHK連続テレビ小説「ゲゲゲの女房」PRコーナー（NHK大阪放送局主催）
開催日時	平成22年4月16日（金）～4月18日（日）3日間															
開催場所	NHK大阪放送会館アトリウム（大阪市中央区大手前）															
コンセプト	「ゲゲゲの女房」「ゲゲゲの鬼太郎」を前面に出した本県全体のPR															
主な内容 （予定）	・本県の観光コースや特産品を「ゲゲゲの鬼太郎」キャラクターが紹介（パネル、実物展示、クイズラリーによる展開など） ・ステージイベント（子ども向けゲーム、観光PR） ・伝統芸能披露（しゃんしゃん傘踊り、麒麟獅子舞、境港大漁太鼓など） ・ワークショップ（ミニ砂像制作、和紙折り紙体験、鬼太郎工作グッズなど） ・観光ツアーデスクの設置 ・NHK連続テレビ小説「ゲゲゲの女房」PRコーナー（NHK大阪放送局主催）															

平成 2 2 年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

1 項 総務管理費

名古屋本部(内線:052-262-5411)

9 目 県外事務所費

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
名古屋本部情報発信事業	3,704	3,704	0				3,704	
トータルコスト	13,386千円(前年度 13,646千円) [正職員:1.2人 非常勤職員:0.5人]							
主な業務内容	情報発信・県産品販路開拓への支援・観光客誘致促進活動等							
工程表の政策目標(指標)	<ul style="list-style-type: none"> 鳥取県の認知度を高めるよう、継続した情報発信の実施 鳥取県産品の情報発信、鳥取県への旅行の商品化の促進 (H19中部地区からの観光入込客数:179千人)							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

鳥取県の魅力を周知するため、マスコミ等とのつながりを一層深め、そうしたことを活用して継続的に情報発信をするとともに、市民が多く参加する集客力のあるイベントに参加することにより、鳥取県の魅力及び認知度の向上を図る。

また、旅行会社に対して観光素材の情報提供を頻繁に行うとともに、百貨店等へも県産品催事の働きかけを行うなど、本県への旅行客の増加や県産品購入の喚起を図る。

2 主な事業内容

単位:千円

項目	予算額	事業内容
マスコミ等を活用した情報発信	830	<ul style="list-style-type: none"> マスコミ関係者の鳥取招致による現地取材と記事掲載 新聞社などの訪問による県内催事の案内、読者プレゼント企画への採用の働きかけとその発信
イベント参加	2,514	<ul style="list-style-type: none"> 多くの市民が集まるイベントや物産展へ参加し、本県の魅力を発信(実施例)・各県合同物産展、駅頭イベント フリ-マーケット観光コーナー出展 など
県産品PR	100	<ul style="list-style-type: none"> 中京圏における物産展情報の把握、県産品の販売状況の把握 百貨店担当者への情報提供や催事の働きかけを行う
観光客誘致促進活動	260	<ul style="list-style-type: none"> 鳥取県観光連盟と連携し、旅行会社への旅行商品企画化の働きかけや一般への旅行喚起を図る 旅行会社への訪問による情報提供や動向収集 観光情報説明会、旅行会社店舗内でのPR など
合計	3,704	

3 これまでの取組状況、改善点

- 年間を通じて、マスコミ等を活用した情報発信や県産品PR、観光客誘致などの活動を実施した。
- マスコミ主催によるイベントへの参加など、新たな発信機会を得た。
- 今後、鳥取自動車道開通やNHKドラマ放送、山陰ジオパークなどの新たな魅力も交えて事業実施する。
- 引き続き、各関係者との良好なつながりを構築するとともに、新たな発信機会が得られるよう努める。

平成 2 2 年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
 3 項 観光費
 1 目 観光費

観光政策課（内線：7238）
 （単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
観光メニューオー ディション事業	3,320	3,344	24				3,320	
トータルコスト	8,161千円（前年度8,315千円）〔正職員：0.6人〕							
主な業務内容	審査会の開催、補助金交付事務、旅行商品化に向けた助言							
工程表の政策目標（指標）	地域に埋もれた観光素材の発掘・磨き上げ							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 県内の埋もれた観光素材を旅行商品化するため、県民や団体から新たな観光メニューを募集し、その磨き上げを旅のプロとともに支援する。 <事業の流れ> (1) 県民提案の募集 (2) 審査会の実施（採択事業の決定） (3) 事業内容の検討会の実施（商品化のための相談、アドバイス） (4) 観光メニューの試験実施 (5) 旅行商品化への取り組み（PR等） (6) 観光メニューの旅行商品化								
2 主な事業内容 (1) 観光メニュー実施支援補助金（3,000千円） ア 補助対象：個人、団体等 イ 補助金の上限：1,000千円 ウ 補助率：1/2 (2) 事業内容検討会の開催（320千円） 上記補助制度を活用する個人、団体に対して、旅行会社の商品造成担当者等による旅行商品化に向けた相談や助言を行う。								
【参考】 平成21年度採択件数 5事業 「マクロビ手作りランチ」（玄米や自然塩等を使ったバランスの取れた食事の提供） 「大山正面山岳古道体験ツアー」（大山の山岳古道の散策コース） 「大山山麓サイクリングプロジェクト」（大山からのダウンヒルサイクリングの実施） 「酒蔵見学の整備」（妖怪を活用したオリジナルラベルの作成） 「智頭町芦津 癒しの森の沢登り」（シャワークライミングの実施）								

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光政策課（内線：7421）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
コンベンション誘致 促進事業	(45,034) 40,166	(40,166) 40,166	(4,868) 0			(4,868)	(40,166) 40,166	
トータルコスト	41,780千円（前年度 41,823千円）「正職員：0.2人」							
主な業務内容	財団法人への指導調整、4市との事業計画・予算関係等の協議・調整、交付金・補助金交付事務							
工程表の政策目標（指標）								

上段（ ）内の数値は商工労働部のふるさと雇用再生特別交付金事業計上分を含む

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

財団法人とっとりコンベンションビューローに対して、コンベンション誘致に要する経費を助成する。

2 主な事業内容

(1) 運営費交付金

(財)とっとりコンベンションビューローの運営費及び人件費を交付する。

負担率	1/2(県、4市)
予算額	26,130千円

(2) コンベンション開催助成費補助金

コンベンションの主催者に対する助成制度への補助を行い、誘致の促進を図る。

補助率	1/2(県、開催市町村)
予算額	13,800千円

平成22年度の「ふるさと雇用再生特別基金」活用内容

- ・県内主催者のコンベンション誘致・開催業務の代行等による支援の充実
(企画書の作成・助言、関係先との連絡調整等)
- ・雇用創出人数：1人

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

中部総合事務所県民局（電話：0858-23-3952）

1目 観光費＜地方機関計上予算＞

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
中華コスプレアジア 大会開催支援事業	800	0	800				800	
トータルコスト	800千円（前年度0千円） [正職員：0.0人]							
主な業務内容	補助金交付事務							
工程表の政策目 標（指標）	東郷湖活性化プロジェクトの支援 ・湯梨浜トライアスロン大会の支援 ・中華コスプレアジア大会の支援 ・東郷池を守り育てるアダプトプログラムの拡大に向けた支援							
事業内容の説明								
1 事業の目的 鳥取県中部地域を舞台として行われる「中華コスプレアジア大会」を通じて、地域の魅力を大きく国内外に情報発信し、誘客促進と観光振興、地域の活性化につなげる。								
2 事業の内容 中国庭園「燕趙園」を主会場として開催される「中華コスプレアジア大会」の事業立ち上げ期間（平成20年度から22年度の3カ年度）における開催経費の一部を助成する。								
補助対象者		補助対象経費		全体事業費 千円	補助金額 千円			
中華コスプレプロジェクト日本本部 （事務局：燕趙園内）		海外からの参加者招聘経費（海外からの航空運賃、国内移動旅費、国内滞在費、通話、交流会、県内観光入場料等）		2,900	800			
3 これまでの取組状況								
<ul style="list-style-type: none"> ・一昨年及び昨年開催された過去2回の大会運営を支援するため、経費の一部を助成（800千円：21年度9月補正予算）。 ・第2回大会は、第1回大会の中国及び韓国からの参加者に加え、香港及びタイからも参加者を招聘し、アジア大会として飛躍した（海外参加国2国 4国、海外参加者14名 30名）。 ・これにより国内のみならずアジアへの鳥取県の知名度向上や誘客の促進が図られるとともに、周辺観光地や宿泊施設など地元経済の活性化に寄与した。 								
【第2回大会の概要】								
日 時：平成21年10月24日（土）、25日（日）								
会 場：中国庭園「燕趙園」、倉吉白壁土蔵群周辺								
参加者：国内...107人（19都道府県）								
海外...中国（7人）、韓国（6人）、香港（9人）、タイ（8人）								
内 容：1日目：撮影会、交流会								
2日目：撮影会、エキシビジョン								

平成 2 2 年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

西部総合事務所県民局(電話：0859-31-9709)

1 目 観光費<地方機関計上予算>

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考												
				国庫補助金	起債	その他	一般財源													
(新)湯ったりだいせん 発信事業	225	0	225				225													
トータルコスト	1,032千円(前年度0千円)[正職員：0.1人]																			
主な業務内容	大山寺地区の足湯整備にかかる補助業務																			
工程表の政策目標(指標)	大山寺で掘削した温泉を活用した地域振興																			
事業内容の説明																				
1 事業の目的・概要																				
<p>大山の新しい観光資源となる“温泉”の魅力をわかり易く発信するため手段として、大山町と協力して足湯を整備する。</p> <p>*経緯 平成18年、大山寺参道の廃業旅館を地元企業が買収。温泉を活用し、健康をテーマとして大山地域を活性化する構想を発表。平成21年4月、温泉の開削に成功したものの。</p>																				
2 主な事業内容																				
(1) 足湯整備事業の実施主体(大山町)への助成																				
<p>事業費総額 15,000千円(町の起債事業)</p> <p>県補助金額 225千円(県の10年間の補助金総額2,250千円)</p>																				
<p>*実質町負担額の1/2を県が補助</p> <p>{15,000千円(事業費総額) - 10,500千円(交付税措置)} × 1/2 = 2,250千円</p>																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>県補助金</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成22年度</td> <td>225千円</td> <td>初年度</td> </tr> <tr> <td>平成23～31年度</td> <td>2,025千円</td> <td>225千円×9年間(債務負担)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,250千円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									年度	県補助金	備考	平成22年度	225千円	初年度	平成23～31年度	2,025千円	225千円×9年間(債務負担)	計	2,250千円	
年度	県補助金	備考																		
平成22年度	225千円	初年度																		
平成23～31年度	2,025千円	225千円×9年間(債務負担)																		
計	2,250千円																			
(2) 足湯整備箇所																				
大山寺参道沿い(旧派出所跡地を予定)																				
(3) 維持管理																				
足湯整備後の日常の維持管理や観光客へのサービスは、地元住民(大山自治会)が行う。																				
3 これまでの取組状況																				
<p>民間企業を中心として地域を再生・活性化しようとする地域の想いや努力に対し、大山周辺の広域の地域活性化の観点で県を含む産学官の連携により取り組みが拡大しつつある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・21年8～10月 大山地域活性化講座(鳥取大学地域貢献講座の位置づけ) 参加者約100名 ・21年10～11月 大山紅葉祭りに合わせ、地元有志が仮設足湯イベント ・22年1月 大山地域の活性化を考えるシンポジウム(内閣府関係事業/参加者150名) 																				

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費
 2 項 企画費
 2 目 計画調査費

観光政策課（内線：7638）
 （単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
未来に引き継ごう！ 県民の歴史資産「三 徳山」調査活用推進 事業	5,006	4,297	709				5,006	
トータルコスト	9,040千円（前年度12,832千円）[正職員：0.5人]							
主な業務内容	関係者との連絡調整、会議開催・資料作成、調査研究の推進、講演会等の事業実施、補助金業務等							
工程表の政策目標(指標)	地域に埋もれた観光素材の発掘・磨上げ、まんが・映画等を活用した新たな魅力づくり等に努め、本県ならではの観光魅力を形成し、他地域との差別化を図る。							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要 鳥取県を代表する文化財である三徳山について、世界遺産登録を視野に入れながら、地元関係者と連携し、調査研究を進めると共に、保全管理の取組や観光振興、まちづくりへの活用を推進する。</p> <p>2 主な事業内容 (1) 事業費 5,006千円</p> <p>(2) 事業内容 ア 三徳山世界遺産登録運動推進協議会・各部会の開催 三徳山世界遺産登録運動推進協議会、各部会（調査研究部会、情報発信部会、保存管理活用部会）で官民一体となり、世界遺産登録運動を総合的に推進</p> <p>イ 情報発信・機運醸成の推進（情報発信部会 - 事務局：鳥取県中部総合事務所県民局） ・講演会の開催 ・文化資産学習会開催支援事業 補助対象事業：住民等が自ら企画・開催する三徳山等の文化資産の学習会 補助対象事業者：公民館、住民グループ等 補助金額：定額（上限5万円） 8団体を予定</p> <p>ウ 調査研究の推進（調査研究部会 - 事務局：鳥取県教育委員会文化財課） ・鳥取県中部における中世寺院に関する研究 ・国内の類似資産との比較調査研究 ・主題の検討 ・三徳山の自然環境調査（委託先：鳥取大学） ・三朝町実施の調査事業の支援（全体事業費4,500千円（県補助率1/3）） 三徳山内の遺構を確認するための発掘・測量調査</p> <p>エ 保存管理活用の推進（保存管理活用部会 - 事務局：三朝町教育委員会） ・地元が中心となって行う保存管理活用の取組の支援（有識者等の招聘等）</p> <p>（参考）三徳山世界遺産登録運動推進協議会 設立 平成16年3月 会長 三朝町長 構成 中部市町、県、三徳山を守る会、三仏寺、倉吉商工会議所、倉吉ユネスコ協会等</p>								

平成 2 2 年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

2 項 企画費

東部総合事務所県民局（内線：0857-20-3657）

2 目 計画調査費 地方機関計上予算

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取砂丘・山陰海岸 (浦富海岸)周辺地域 振興事業	2,000	1,000	1,000				2,000	
トータルコスト	8,454千円（前年度7,628千円）[正職員：0.8人]							
主な業務内容	関係機関との連絡・調整、補助金交付・支援							
工程表の政策目標(指標)	山陰海岸ジオツーリズムに取り組む団体の支援							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

山陰海岸の世界ジオパークネットワーク加盟に向け、その魅力を県民に広く知っていただき、機運醸成を図ると共に、ジオツーリズムの定着に向け、メニューの開発・振興、普及啓発のための地域での創意工夫ある取組みを支援し、ジオパークを通じた山陰海岸周辺地域の振興を図る。

2 主な事業内容

（千円）

区 分	事業費	事業内容												
山陰海岸ジオツーリズム振興補助金	1,600	<p>民間の新たな創意工夫ある取組みと行政との協働によりジオツーリズムの振興を図ることを目的として、補助金を交付する。</p> <table border="1"> <tr> <td>対象者</td> <td>特定非営利活動法人、団体、企業、個人</td> </tr> <tr> <td>対象事業</td> <td>山陰海岸ジオパーク地域内でのジオツーリズムの振興につながる現地体験型事業</td> </tr> <tr> <td>対象経費</td> <td>・参加者の募集に必要な経費 ・現地体験に必要な経費 ・地質等の学習に必要な経費</td> </tr> <tr> <td>補助率</td> <td>定額</td> </tr> <tr> <td>限度額</td> <td>250千円</td> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td>1,600千円</td> </tr> </table>	対象者	特定非営利活動法人、団体、企業、個人	対象事業	山陰海岸ジオパーク地域内でのジオツーリズムの振興につながる現地体験型事業	対象経費	・参加者の募集に必要な経費 ・現地体験に必要な経費 ・地質等の学習に必要な経費	補助率	定額	限度額	250千円	予算額	1,600千円
対象者	特定非営利活動法人、団体、企業、個人													
対象事業	山陰海岸ジオパーク地域内でのジオツーリズムの振興につながる現地体験型事業													
対象経費	・参加者の募集に必要な経費 ・現地体験に必要な経費 ・地質等の学習に必要な経費													
補助率	定額													
限度額	250千円													
予算額	1,600千円													
普及啓発事業	400	ジオエリアを紹介する写真展開催等												
計	2,000													

3 これまでの取組状況

平成 2 1 年度に創設した山陰海岸ジオツーリズム振興補助金を活用して、地域団体等による新たな取組みが行われた。ジオツーリズムの定着に向け、引き続き地域での取組みを支援していく必要がある。

H21 山陰海岸ジオツーリズム振興補助金活用実績

事業数	5 事業
地 域	浦富海岸、扇ノ山
内 容	ジオポイント研修、ウォーク、シーカヤック、遊覧船、化石レプリカづくり等

平成 2 2 年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

西部総合事務所県民局(電話：0859-31-9769)

1 目 観光費 <地方機関計上予算>

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫補助金	起債	その他	一般財源	
大山パークウェイ構想 日本旅行作家協会総会 誘致事業	2,400	1,700	700				2,400	
トータルコスト	7,241千円(前年度6,671千円)〔正職員：0.6人〕							
主な業務内容	大山パークウェイ構想にかかる催事実施、連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	地域資源(ひと・もの・活動)の魅力を県内外の客が享受できるようにする							

1 事業内容の目的・概要

観光客の滞在延長を目指す大山パークウェイ構想の一環として、日本旅行作家協会総会(特別例会)を誘致し、当エリアの認知度をあげ、旅関係連載雑誌等を通じた鳥取県への誘客増を図る。

大山パークウェイ構想

- (1) 蒜山から国立公園大山を經由して美保の関までつながる80キロの絶景ドライブルート
を大山パークウェイと名付け、エリアのブランド化を図る。
- (2) スローライフ・スローフードを打ち出し、地場産業の活性化を目指す。
- (3) 「食」と「体験」で泊を延ばし、誘客増によって持続する経済基盤を構築する。

2 主な事業の内容

- (1) 日本旅行作家協会の総会を鳥取県に誘致し、会員へ地元の魅力を紹介する

日本旅行作家協会

観光の専門家集団による権威ある組織団体であり、旅行産業界に大きな影響力を持つ団体。
 ・会長 兼高かおる氏(日本エコツーリズム協会初代会長)
 ・会員 300名 著名人を含む旅行作家など

日本旅行作家協会の総会誘致による人脈構築を契機に、次年度以降は、日本エコツーリズム全国大会および日本エコツーリズム大会世界大会の鳥取県開催誘致による鳥取県の魅力発信を目指す。

- (2) 事業費

日本旅行作家協会総会誘致経費 2,400千円

事業	要求額(千円)	内 容
レセプション開催	900	60名
エクスカージョン催行	500	大山パークウェイ周辺地域視察移動経費
マスコミ招致	500	取材経費
事務費	500	連絡調整費
計	2,400	

- (3) 市町村等との連携

主 体	役 割 分 担
鳥取県	総会誘致及び実施、連絡調整等
大山パークウェイ協議会	視察コースのコーディネート及び案内
地元市町村	視察受入れ(案内ガイド対応)

3 これまでの取組状況

- (1) H20から取り組みを始めた大山パークウェイ構想は、3県(鳥取県、島根県、岡山県)連携のもとNPO大山王国を核として民間事業者主導により情報発信等が進み、県外の旅行会社やマップのインターネットサイトに掲載されるなど認知度が上がってきている。
- (2) H21に実施した旅の専門家による大山パークウェイの現地視察診断では日本旅行作家協会会長から高い評価を受けた。

平成22年度一般会計当初予算説明資料

6款 農林水産業費

4項 林業費

2目 林業振興費<地方機関計上予算>

八頭総合事務所農林局(0858-72-3830)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
森林セラピーの郷づくり支援事業	10,278	150	10,128				10,278	
トータルコスト	13,505千円(前年度3,464千円)[正職員:0.4人]							
主な業務内容	森林セラピー連絡会議に係る企画調整・運営事務、森林セラピー周知活動、補助金事務など							
工程表の政策目標(指標)	-							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

智頭町が取り組む「森林セラピーの郷づくり」を推進するため、森林セラピーについて広く普及・宣伝するとともに、森林セラピー基地の普及啓発及び体験施設等整備について支援する。

2 主な事業内容

(単位:千円)

区分	事業内容	事業主体	事業費	予算額	補助率
森林セラピー連絡会議	森林セラピーの情報交換や周知活動等の実施	県	545	545	-
(新)森林セラピー基地普及啓発支援事業	森林セラピー基地の普及啓発等を支援 ・基地認定イベント ・モニターツアー等	智頭町	2,800	1,400	県1/2
(新)森林セラピー重点施設整備戦略的支援事業	森林セラピー基地における体験施設等の整備を支援 ・体験施設、ログハウス ・トイレ等	智頭町	50,000	8,333	県1/6
合計			53,345	10,278	

3 これまでの取組状況、改善点

<取組状況>

- ・大学や報道機関、旅行会社等からの参加を得て、8月と11月に森林セラピー連絡会議を開催
- ・スギを使った森林セラピーを推進できる弁当容器開発について智頭町を支援

<自己分析>

- ・森林セラピーの普及推進のため、勉強会やイベント開催などの活動が必要。智頭町の先進的な取組みを支援することにより、その定着を図りたいところ。

【参考】森林セラピーについて

森林セラピーは、森林浴で得られる森林の癒し効果やリラックス効果を医療やリハビリテーション、カウンセリングに利用する療法 (セラピー:therapy)

平成22年4月には、智頭町が森林セラピー基地に認定される予定

平成 2 2 年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
 3 項 観光費
 1 目 観光費

観光政策課（内線：7238）
 （単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
地域観光資源磨き 上げ支援事業	325	325	0				325	
トータルコスト	16,461千円（前年度16,895千円）〔正職員：2.0人〕							
主な業務内容	市町村、観光事業者等への助言							
工程表の政策目標(指標)	地域に埋もれた観光素材の発掘・磨き上げ							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

観光地振興（地域づくり）や受け地整備（商品化）を行う実施主体（市町村観光協会や各種団体等）に対して、観光客誘致のためのノウハウや旅行会社に受け入れられやすい整備の仕方等を県に設置した観光コーディネーターが中心となりアドバイスを実施する。

観光コーディネーターが、企画段階から積極的に地域に入り込み、市町村・県民局と調整しながら事業主体に対して助言を行う。

2 主な事業内容

（1）事業費 325千円（標準事務費）

（2）市町村等への助言内容

- ・事業の持続可能な取組みの手法
- ・観光客誘致のための売り込み方
- ・旅行会社に受け入れられやすい整備方法 等

（3）平成 2 1 年度の事例

- ・倉吉線廃線跡「桜並木」ウォーク
- ・若桜鉄道夜桜列車
- ・マグロ市場見学ツアー
- ・無声映画「三朝小唄」を楽しむ夕べ

平成 2 2 年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
3 項 観光費
1 目 観光費

観光政策課（内線：7238）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取砂丘検定実施事業	400	600	200				400	
トータルコスト	2,014千円（前年度2,257千円）〔正職員：0.2人〕							
主な業務内容	負担金交付事務及び検定テキスト作成に関する連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	もてなし意識の普及・啓発							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

昨年4月に「日本一の鳥取砂丘を守り育てる条例」が制定され、県民の貴重な財産である鳥取砂丘の環境保全と活用が注目されている中、県内外の人々に鳥取砂丘の魅力を知っていただくことを目的に実施される鳥取砂丘検定の取組みに対して、負担金を交付する。

2 主な事業内容

(1) 実施主体 鳥取砂丘検定実行委員会

(構成団体) 鳥取市、鳥取市観光協会、鳥取商工会議所、鳥取青年会議所、鳥取大砂丘観光協会、自然公園財団鳥取支部、岩美町観光協会、鳥取県等

(2) 全体事業費

(単位：千円)

区 分	事業費
実行委員会開催費、問題作成委員会開催費	300
検定試験等実施経費	840
合 計	1,140
財源内訳	
鳥取県	400
鳥取市	400
検定受験料収入等	340

事業費の負担割合は県・鳥取市各1/2

(参考) 第1回鳥取砂丘検定の実施状況

- ・試験日 平成21年9月27日(日)
- ・試験会場 鳥取、東京、名古屋、大阪
- ・受験者数 245名(鳥取県内170名、鳥取県外75名)
- ・合格者数 180名

平成 2 2 年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

西部総合事務所県民局（電話：0859-31-9769）

1 目 観光費＜地方機関計上予算＞

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
大山中海観光宣伝事業～大山中海がいな魅力の発見&体感大作戦～	13,755	16,620	2,865				13,755	
トータルコスト	18,596千円（前年度20,763千円）〔正職員：0.6人〕							
主な業務内容	大山中海圏域の観光的魅力のPRにかかる補助金、協議・連絡調整業務							
工程表の政策目標（指標）	西部地域の自然環境の情報発信と意識啓発							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
【目的】 大山中海圏域で行われる全国規模の大会やイベント等を通じて、地域の観光魅力を情報発信しPRする。								
【概要】 鳥取県で生まれた2つの大会の開催経費への支援 （1）日本トライアスロン皆生大会（鳥取県発祥鉄人レース） （2）皆生・大山SEA TO SUMMIT（鳥取県発祥環境スポーツイベント）								
2 主な事業内容								
（単位：千円）								
区 分	事業費	内 容						
皆生トライアスロン協会補助金事業	10,000	節目の記念大会となる第30回全日本トライアスロン皆生大会の広報宣伝活動を支援するための皆生トライアスロン協会に対する補助金。						
皆生・大山SEA TO SUMMIT 開催補助事業	2,000	昨年大山周辺で開催され、国内外から非常に大きな注目を集めた国内初のカヤック・バイク・登山による環境を考えるスポーツイベントの2回目 「皆生・大山SEA TO SUMMIT2010」を行う実行委員会（鳥取県山岳・カヌー・サイクリングの各協会、観光関係団体、NPO、市町村等で構成予定）への補助金。（平成23年度まで鳥取県で開催支援予定） ・SEA = カヤック競技（皆生～淀江） ・TO = 自転車競技（淀江～大山寺） ・SUMMIT = 大山登山（大山寺～大山山頂）						
連絡調整費	1,755	大山中海圏域の観光宣伝を行う事務的経費						
計	13,755							

平成22年度 一般会計当初予算説明資料

8 款 土木費

2 項 道路橋りょう費

西部総合事務所県土整備局（電話：0859-31-9720）

2 目 道路橋りょう総務費＜地方機関計上予算＞

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
大山パークウェイ構 想支援事業	1,052	3,000	1,948				1,052	
トータルコスト	3,472千円（前年度 4,657千円） [正職員 0.3人]							
主な業務内容	交通量調査等にかかる委託契約事務、関係者協議							
工程表の政策目標（指標）	-							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

大山パークウェイ協議会^(*)で示された一連の観光ルートを現地でドライバーに認知してもらい、各観光地の移動をスムーズにすることにより一体的な観光振興を図れるようにするため、同協議会と連携して道路施設の整備等（道路案内標識、案内看板等の修正等）を行う。

2 主な事業内容

大山パークウェイをドライバーに認知してもらうため、名称の表示と道路案内標識の修正、案内看板の修正を行うとともに、事業効果検証のため交通量調査及び道路利用者満足度調査を行う。

平成21年度1月補正（緊急経済対策）7,500千円

案内看板の修正

道路案内標識の修正

大山パークウェイ名称の表示

平成22年度予算 1,052千円

交通量調査

道路利用者満足度調査

（交通量調査については、パークウェイ協議会として、県、大山町、伯耆町、江府町が場所を分担し同時に実施する。）

3 これまでの取組状況

平成20年度

（パークウェイ協議会）

- ・マップ、プロモーションビデオ作成
- ・ホームページ作成・運営
- ・シンポジウム開催 等

（鳥取県）

- ・協議会の連携推進

平成21年度

（パークウェイ協議会）

- ・ステッカー、看板設置
- ・ガイド冊子作成 等

（鳥取県）

- ・協議会の連携推進
- ・パークウェイ案内表示計画作成



* 大山パークウェイ協議会の構成

会 長：西部総合事務所長

事務局：NPO大山中海観光推進機構

会 員：大山パークウェイ沿線の市町・観光協会

平成 2 2 年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

砂丘事務所（電話：0857-22-0583）

1 目 観光費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取砂丘新発見伝事業	15,271	15,271	0				15,271	
トータルコスト	27,373千円（前年度 26,870千円）[正職員：1.5人]							
主な業務内容	事業計画、イベントの公募・審査・実施の決定・広報・実施							
工程表の政策目標（指標）	砂丘の多角的な魅力の発掘・情報発信を行う。 （新発見伝事業：12事業）							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

鳥取砂丘観光の振興、地域の活性化に寄与することを目的に、鳥取砂丘の新しい魅力を創造・発見し、県内外に広く情報発信するイベントを民間から公募・イベントの開催経費を助成する鳥取砂丘再生会議に対して、鳥取砂丘新発見伝事業負担金を交付する。

2 主な事業内容

(1) 鳥取砂丘新発見伝事業負担金：15,000千円 事務費：271千円

ア 全体事業費 30,000千円

イ 負担割合 県1/2、鳥取市1/2

(2) 鳥取砂丘再生会議（利活用部会）の役割

ア 民間からのイベント募集・審査・実施の決定並びにイベント開催経費の助成、サポート

イ 実施されたイベントの事業評価

ウ ホームページなどによる広報宣伝事業

（参考：平成21年度開催イベント）

鳥取砂丘イリュージョン、鳥取大砂丘全日本第5回サンドボード選手権大会など
計9イベントを実施

3 これまでの取組状況、改善点

鳥取砂丘新発見伝事業のあり方について、鳥取砂丘再生会議利活用部会において議論を重ね、次のような見直しを検討、実施している。

ア 新発見伝事業に応募しやすい雰囲気とするため、採択基準・審査の視点を見直した。

イ 従来のイベント募集に併せて「アイデアコンテスト」を実施し、旧来のイメージにとらわれない新たなアイデアを募集した。

優秀作品については、利活用部会で実施に向けて検討、翌々年度以降の実施を目指す。

ウ 魅力あるイベントへの改善を図るため、イベント実施者と利活用部会の意見交換会を実施し、イベントの事後評価を行っている。（平成21年度実施イベントから適用。）

エ 砂丘に関わりの深い人々に広く集まっていただき、イベントの企画や運営、鳥取砂丘の利活用の促進について、様々な形で参加・協力をいただくため、「砂丘応援団」を上げた。

平成 2 2 年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費
 2 項 企画費
 2 目 計画調査費

観光政策課(内線: 7 6 3 8)
 (単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)トトリノススメ・民芸魅力発信事業	3,416	0	3,416				3,416	
トータルコスト	5,030千円(前年度0千円)[正職員:0.2人]							
主な業務内容	展示会準備、講演会企画・開催、事業者との連絡調整、委託契約事務							
工程表の政策目標(指標)	マスコミへの露出アップや観光キャンペーンの展開等により、本県の知名度向上を図る。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

本県民工芸品を観光情報と一体化して県外セレクトショップ等において広く紹介することにより、県外からの観光誘客を図るとともに、若手製作者の作品を積極的に取り上げ、新製品・後継者育成にもつなげていく。

(「セレクトショップ」:ひとつのブランドの商品だけではなく、店のセンスで選んで売る提案型店舗の総称。)

2 主な事業内容

(単位: 千円)

区 分	予算額	内 容
(1) 展示会・体験教室の開催	2,290	<p>若者に人気のある県外のセレクトショップやカフェにおいて展示会や体験教室を開催し、本県の伝統的な民工芸品のほか、若い世代に人気のある新しい民工芸品の提案を通じ、本県の観光PRも行う。</p> <p>[開催場所](4ヶ所) ・東京、大阪等国内のセレクトショップ3箇所 ・韓国ソウルのカフェ・ソース(鳥取本店が昨年出店)</p> <p>[日程] 7月~11月にかけて、各箇所1週間程度、合計4箇所</p> <p>[内容] 本県民工芸品の展示及び制作体験教室の開催</p>
(2) 講演会の開催	1,126	<p>デザイン・建築・文化等の情報発信地で、人気イラストレーターを講師にむかえ、本県の民工芸品や観光を紹介する講演会及び展示を行い、本県の観光PRも行う。</p> <p>[開催場所(予定)] リビングデザインセンター(東京都西新宿) (デザイン、建築、文化などの総合情報発信の拠点となっている。)</p> <p>[開催日程] ・講演会: 11月頃 ・展示会会期: 講演会開催日を含めて1週間程度</p> <p>[講師(予定)] 安西水丸(あんざいみずまる)氏 (イラストレーター、デザイナー。 従来から本県の民工芸品を日常的に愛用しており、 自身のエッセイ、雑誌連載等で本県を多数紹介。)</p>